



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

部門システム
委員会

2023年度 業務報告会

部門システム委員会 活動報告

2024年2月13日
部門システム委員会
委員長 真壁 光男

- 1. 今年度の事業計画
- 2. 部門システム委員会報告
 - 2-1. 部門システム類型化
 - 2-2. 教育事業対応
- 3. 専門委員会、WG報告
 - 3-1. 病棟業務支援システム専門委員会
 - 3-2. 物流システム専門委員会
- 4. 来年度の事業計画

(1) 部門システムに係る課題抽出と解決、標準化の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2) 病棟業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索
- ・各種団体との協力による活動の推進

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・「H I S 向け医療材料マスタの提供ガイド」の改定・普及促進
- ・「医療材料 E D I 標準化ガイド（仮称）」の策定
- ・物流システムの先進的な内容の研究

(4) リハビリ管理業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進

各部門システムと電子カルテシステムとの連携を中心に、データやモノの連携・流れをまとめ教育事業の教材に反映し、JAHIS会員および外部受講者に情報提供した。
今年度の新たな取り組みとして、ロボット音声（VOICEPEAK）を活用。

1. 部門システム

部門システムとは？ 代表的な部門システムの紹介

JAHIS 医療システム部会
部門システム委員会

目次

1. 部門システムとは？
2. 代表的な部門システムの概要・連携
3. 病棟に関連した部門システムの紹介
 - 1) 生体情報モニタ・システム
 - 2) ナースコールシステム

【参考資料 1】患者及び操作者等の安全に関する資料
【参考資料 2】看護師の1日の業務と使用システム
【参考資料 3】電子カルテシステムの対象範囲（部門システムとの連携）

一般ITと医療ITの発展推移

医療IT	部門システム	院内連携システム	病院外連携システム
生体情報モニタ	リハビリ支援システム	経費支援システム	電子カルテシステム
誤用支援システム	遠隔管理システム	院内物流管理システム(医薬品)	地域連携支援システム
卒業管理システム	輸血管理システム	院内物流管理システム(材料)	電子カルテシステム
臨床検査情報システム	放射線情報システム	オーダエントリシステム	看護支援システム
医事会計システム		アーウェアハウス	連携バスシステム
			病室連携システム

一般IT	医療IT	連携	その他
総務システム	処方管理システム	航空機予約システム	図書館予約システム
経理システム	在庫管理システム	新報検索システム	住民基本台帳ネットワーク
	生産管理システム	銀行ATMシステム	電子メール
			電子マネー
			スマート決済
			IoT/AI
			マイナンバー
			自動運転

1960 EDP 1980 オフィス用 2000 インターネット 2010 スマートフォン 2022 ビューワー

生体情報モニタ・システム 概要

院内・病院内 情報の流れ
病院内 物の流れ

電子カルテシステム ↔ 患者基本・オーグ情報
電子カルテシステム ↔ 経過記録・処置情報
検査システム ↔ 検査結果
生体情報システム ↔ 生体情報モニタ
生体情報システム ↔ ナースコールシステム (アラート情報, ベッド情報)
生体情報システム ↔ 各種単体モニタ
生体情報システム ↔ 緊急検査装置

院内物流システム 概要

院内・病院内 情報の流れ
病院内 物の流れ

医薬品 (薬剤部) ↔ 電子カルテシステム
医薬品 (薬剤部) ↔ 薬剤業務支援システム
院内物流システム ↔ 電子カルテシステム
院内物流システム ↔ 薬剤業務支援システム
院内物流システム ↔ 診療材料 (中央材料室)
院内物流システム ↔ 仕入会社

ナースコールシステムの特徴

(2) 患者・看護師・各システム・機器をつなぐ「ハブ」

「必要な情報」を「必要な人」に「必要な時」に通知
安全・安心なケア環境の提供

患者の呼出 (一般、トイレ介助、点滴終了) → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
離床センサー → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
生体情報モニタアラーム → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
IPカメラ → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
トイレスケッチャ → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
リフト → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
VIT → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
エスカレーター → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン
一般呼出 → 電子カルテシステム → 患者情報 → グループ着信 → スマートフォン

記録の自動化に関する検討

病棟に存在しているシステムや機器・デバイス類の勉強会

2022年度に実施したアンケートを元に、以下のシステム・機器について、各ベンダーを招いて勉強会を開催した。

勉強会では、最新機能を紹介いただき、他システム（主に電子カルテや看護システム）とのデータ連携における実績や課題をうかがい、委員会側からの質疑も交えた情報交換を実施した。

- ナースコールシステム
- 離棟検知システム
- 生体情報モニター
- 人工呼吸器
- 身長・体重測定器
- バイタル測定器（健診用）
- バイタル測定器（医療機関用）
- スマートベッドシステム
- 睡眠／体動 見守りシステム

MEDIS-DCマスタの改善に関する検討と提言

- 2023年7月 MEDIS内にタスクフォースへ継続参加
看護実践用語標準マスターのデータ利用に関するタスクフォース
- 2023年8月 改善案の検討を継続
 - ① 血圧値の表現タイプの扱いについて
 - ② 観察結果値テーブルのコード体系について
 - ③ 観察項目分類のテーブル化 について
 - ④ 付随情報の扱いについて（基本表記と付随情報の整理）
 - ⑤ 単位が異なる項目の扱いについて（m/cm、kg/g）
など
- 2023年12月 マスタリリース(Ver.3.8)
検討内容（①～③）を反映し、マスターが公開された
- 2024年1月 改善案の検討継続
 - 付随情報の扱いについて（基本表記と付随情報の整理）
 - 単位が異なる項目の扱いについて（m/cm、kg/g）
など

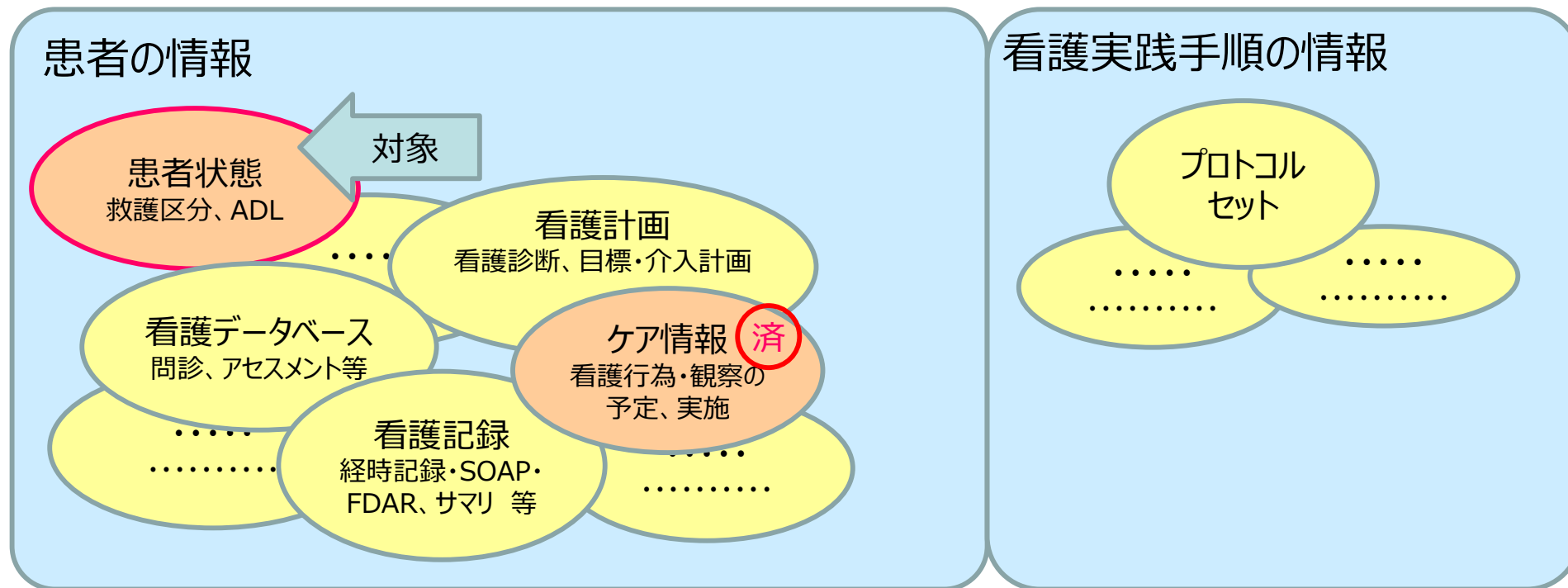
JAHIS看護データセット適用ガイドの強化

看護情報WG

- 2023年4月 今年度活動開始 「患者状態」の検討を継続
- 2023年7月 特性の定義が終了、作業項目 改定A 提案
- 2023年8月 改訂作業の開始が承認され、作業を開始
 - 情報連携をターゲットに特性を再整理
 - 公的書類から対象項目を選定し、特性との整合性を確認
 - 8社の経験上で追加すべき項目を調整し、特性を最終調整
- 2023年10月 データ定義と文書改訂に着手
- 2024年1月 2023年度の改訂を目指して作業継続中

「患者状態」の定義

看護情報の種類



<定義>

「患者状態」とは、患者の「身体的・精神的有り様」を表すための複数の指標である
各指標の評価はいくつかに分割されており、患者の有り様は、各指標の分割された評価のいずれかに分類される

今後の活動について

1. 病棟業務支援システム専門委員会

- 記録の自動化が有効であるシステム・機器・デバイスの選定
- 記録の自動化が有効であるユースケースの定義と課題の見極め

2. 看護情報WG

- 看護データセット適用ガイドの普及推進、実装検証
- 同ガイドのブラッシュアップに向けた作業計画の立案

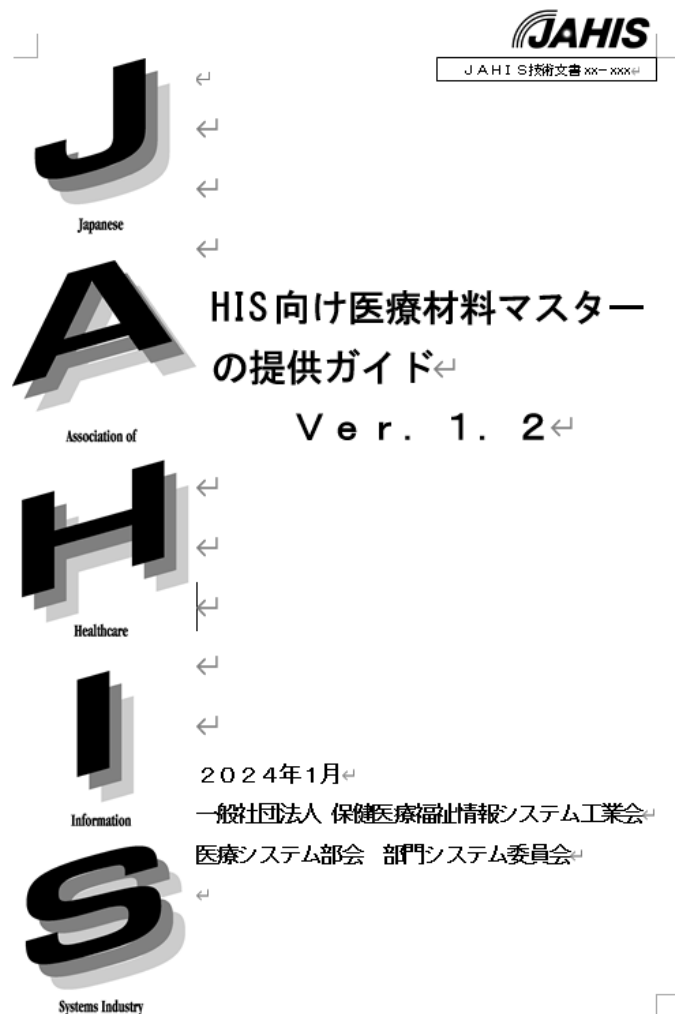
テーマ：物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- 1) 「HIS向け医療材料マスターの提供ガイドv1.2」改版
 - ・前回の2016年から8年ぶりの改版
 - ・MEDIS更新差分の取込み、GS1 Japan指摘反映

- 2) 「HIS向け医療材料EDI標準ガイド（仮）」の策定
 - ・医療材料発注の病院～卸間の電子取引標準化作成中

- 3) 物流システムの先進的な内容の研究
 - ・専門委員・オブザーバ・業界団体からの先進事例について情報収集を行い、標準化・ICTモデルについて検討を実施

技術文書「HIS向け医療材料マスターの提供ガイド v1.2」改版



- MEDIS更新差分の取込み。
- GS1 Japan様の用語改善など指摘反映。
- 薬品・医療材料の梱包（外箱・内箱・個装）のGTINコード体系についても、最新の教材資料内容を反映。

2024年1月度の医療システム部会で審査承認。

(1) 部門システムに係る課題抽出と解決、標準化の推進

- ・部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ・教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2) 病棟業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・看護情報のシステム間移行、施設間連携のための標準化
- ・病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索
- ・各種団体との協力による活動の推進

(3) 物流業務の効率化、標準化及びその利用の推進

- ・「H I S 向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及促進
- ・「医療材料 E D I 標準化ガイド（仮称）」の策定・普及促進
- ・物流システムの先進的な内容の研究
- ・各種団体との協力による活動の推進

(4) リハビリ管理業務の効率化、標準化の推進、介護連携の強化

- ・リハビリ計画書連携の標準化推進
- ・リハビリシステム業務の標準化推進



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

部門システム
委員会

ご清聴ありがとうございました